

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、この計画いたしているのは、復興まちづくり計画の中で位置づけておるわけであります。そして、やはり復興という大火からの大きな使命を持ったこととございますので、やはり時間を持って、そして国の支援をいただく中で、今進めてきたわけとございます。その途中途中では、いろんな皆様方のご意見をお聞きし、そして、それを具体的に今進めてきてるわけとございます。そして、これにつきましても計画的に予算づけをさせていただきました。予算を大きくオーバーするということで、今回、圧縮をさせていただきました。

そういったことで、どちらかをとればどちらかが大きく変化するわけとございます。今回は、やはり予算に合わせさせていただいたということとご理解いただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

近くに新鮮な食材を買えるところが欲しいという被災者市民の声は横に置いて、復興の計画だけを進めようという行政の進め方、いかがなもんかなと思います。

終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

次に、佐藤 孝議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。〔7番 佐藤 孝君登壇〕

○7番（佐藤 孝君）

日本共産党の佐藤 孝です。

通告書に基づいて、1回目の質問をさせていただきます。

1、民生委員・児童委員について。

全国で親による子供の虐待を初めとした児童が犠牲になる事件が続いています。また、認知症や老老介護がふえ、孤独死も報道されております。

糸魚川市では過疎化と高齢化が進み、民生委員の果たす役割は年々大きくなってきていると思われます。委員を推薦する際に当たっても各地域で困っている話を聞いています。糸魚川市の現状と対策について伺います。

(1) 糸魚川市での民生委員の配置基準と委員の人数は、どうなっているか伺います。

(2) 12月1日からの新民生委員の選任についてはどんな進捗状況か伺います。

(3) 民生委員は無給のボランティア公務員とも言われるが、市で交付できる活動費については、糸魚川市ではどうなっているか伺います。

(4) 今後、ひとり暮らしがふえ、山間地では民生委員の適任者・適格者も減ってくると思いま

すが、この対策についてはいかがか伺います。

2、学校と教育行政機関等について。

4月2日付、糸魚川タイムスの5ページに掲載された、教職員歓迎式での市長発言「嫌ならどこかへ」に、違和感を持っていたところではありますが、その件について、以下伺います。

- (1) 学校教育を進める上での、市長と教育委員会の役割（すみ分け）について伺います。
- (2) 学校の教員の、職場での残業や持ち帰り残業について伺います。
- (3) 教員は給特法が適用され、労働基準法第37条の適用外ということではありますが、この給特法について伺います。
- (4) 教員になって3年くらいの期間に、精神疾患によって休職に至るケースが多いと聞きますが、新潟県や糸魚川の状況を伺います。

3、会計年度任用職員について。

会計年度任用職員の制度は、2020年度の導入を目指して準備が進んでいると思いますが、現時点での市の考え方について伺います。

- (1) 会計年度任用職員の導入に当たって、準備の進捗状況について伺う。
- (2) 会計年度任用職員のフルタイム型とパートタイム型について、給付の面では糸魚川市はどう対応する予定か伺います。
- (3) 「空白期間」の適正化の取り組みについて伺います。
- (4) 会計年度任用職員の「再度の任用」と昇給について伺います。
- (5) 年次有給休暇の繰り越しについて、現在の臨時職員はどうなっていますでしょうか、伺います。

4、ビーチホールまがたまについて。

ビーチホールまがたまは、市民の会議や各種イベントに利用できて重宝されてきました。施設のうち、多目的ホールの管理運営が、今年度から文化振興課に移管となりました。利用者から不安の声も上がっています。以下について伺います。

- (1) 当初のビーチホールまがたまに多目的ホール（舞台・客席）が設けられたことの目的について伺います。
- (2) 多目的ホール（舞台・客席）の利用については、新たな制限を加えるようなことを考えているのかどうかを伺います。
- (3) 客席数が900を超える市民会館と比べて、ビーチホールまがたまは客席数が半分程度、利用料金も格安で、小さな文化団体を育てる役割を、今まで大いに果たしてきたと思いますが、いかがでしょうか。

以上、1回目の質問といたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

佐藤議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、県の条例で定数が定められており、民生委員・児童委員は

127人、主任児童委員は14人で、現在欠員はありません。

2点目につきましては、退任する意向の方については、自治会からの推薦などにより、次期委員の選任を進めております。

3点目につきましては、年額6万円を支給いたしております。

4点目につきましては、今後も民生委員活動が継続できるよう地域の皆様と検討してまいります。

2番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしく願いいたします。

3番目の1点目につきましては、県の主催する研修会に参加し、職員向けの制度説明会や臨時職員等の勤務実態の精査を行っております。

2点目と3点目につきましては、国の通知や他市の状況を確認しながら適正なものとなるよう検討しております。

4点目につきましては、他市の状況を確認しながら検討いたしております。

5点目につきましては、年次有給休暇の繰り越しを行っております。

4番目の1点目につきましては、市内の文化芸術団体の発表の場や、展示会など多用途に利用でき、市民一人一人が生涯を通じて、生きがいのある充実した生活を送れることを目的に、設置いたしましたものであります。

2点目につきましては、原則として利用者に制限を加えることは考えておりません。

3点目につきましては、講演会や小規模な催し等で有効に活用されており、市民の文化芸術活動の発表機会を提供するホールとしての役割を果たしてきてると認識いたしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、部・課長からの答弁もありますのでよろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

佐藤議員の2番目のご質問にお答えいたします。

1点目につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、市長と教育委員会の職務権限が、それぞれ定められております。

2点目につきましては、学校の働き方改革を推進しており、4月の職員の時間外勤務は、昨年度に比較して減少しております。

3点目につきましては、教育職員は、その勤務の特性から、単純に勤務時間を計算することができないため、公立の義務教育小学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の適用を受けております。

4点目につきましては、採用後3年程度の教員に限らず、精神疾患による休職者は、糸魚川市ではおりません。県全体では、29年度、全年齢層で136人の休職者がいたと公表されております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

それでは、1番目の民生委員・児童委員についての2回目の質問をさせていただきます。

ことは、民生委員の任期が11月30日で切れ、12月1日から新体制の3年間は始まります。この春、私の地域では区長さんが、民生委員候補探しにあちこちを駆け回るが、なかなか引き受け手がない。見つからなくて、頭が痛いと何度も聞かされておりました。

また、その後、上南地区のほうでもこんな声がありました。

私は、定年退職時に言われたことがある。めでたく定年退職まで仕事を全うしたあなた方には、お願いがある。居住地区に帰ったら、ぜひ民生委員として地域の力になってほしい。その方は、退職してから数年たって、妻子を残して、年老いてひとり暮らしになった母親のもとへ、生まれ故郷へ帰ってきたわけです。この春、民生委員のなり手を探している。こういうお話を聞いたとき、自分でよければ役に立ちたいと思った。しかしながら、住所が糸魚川市にない。この1点でだめであることがわかった。以前の仕事の関係上、体力的にも守秘義務の点でも自信があり、県内あちこちを転勤した際に、各地で民生委員不足を目にしてきただけに、お役に立てないことは非常に残念である。

これは、私の同級生の元警察官が退職して、妻子をほかの地に残して、母親のところへ帰ってきた。そういう人であります。彼は、生まれ故郷で、過疎と高齢化の進む地域で隣近所の地域の働き手として頑張っております。

ところで、最近の民生委員・児童委員の年齢構成、年間活動日数及び活動日数の傾向増減等は、どうなってますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

お答えいたします。

民生委員・児童委員の年齢構成でございますが、60歳以上から75歳までの委員が非常に多く、全体の約8割を占めております。また、平均年齢につきましては、68歳でございます。

次に、年間活動日数でございますが、直近の3カ年で、平均で1人当たり87日となっております。この3年間で、ほぼ同じ程度の活動日数となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

民生委員の適格者として、1つは当該市町村の議会の議員の選挙権を有するもの、2つ目として人格・識見高く、広く社会の実情に通じ、かつ、社会福祉の増進に熱意のあるもの、3つ目に清廉であること。特に2番目の条件は、非常に厳しい条件であります。制度ができた1917年ごろは、地域の有力者、地主、名士と言われる人たちの中に、みずから働かなくても生活できる人が、無償の民生委員を1つの名誉職として引き受ける人がおられたかもしれません。昨今の現状の中で、

適格者を責任を持って推薦するというのは、各地区の区長さんにとっても、市の民生委員推薦会にとってもなかなか難問だと思いますが、民生委員推薦会の方からは、どのような声がありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

数人の区長さんから人選が非常に難しいというお声を聞いております。今年度は、まだ推薦会は開催しておりませんが、過去に平成25年度一斉改選のときでございますが、後任選びに非常に苦慮いたしまして、その際、年齢制限を引き上げてほしいというご意見をいただきました。その旨を国・県に要望いたしました結果、平成28年度からは年齢制限を10歳引き上げになりまして、75歳となっております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

各地区で苦勞されていることがわかりました。各地区から上がってきた民生委員候補者について、市の民生委員推薦会で、不適格として県知事に推薦しなかったという、こういうケースはございませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

過去の平成25年度及び平成28年度の一斉改選時を確認いたしましたところ、推薦会で不適格として推薦しなかったケースはございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

民生委員は、職務上、個人情報に接するため守秘義務がございます。にもかかわらず、〇〇さんのところは生活保護をもらってるらしいとかいった話を回りから聞くことがございます。このような守秘義務に関する苦情は、届いたことはございませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

特にそのような苦情は聞いておりません。

民生委員の守秘義務につきましては、就任時にしっかり説明しておりますし、平成30年2月に弁護士による守秘義務の研修会も行ってございまして、その際、約50人の民生委員さんからご参加いただいております。引き続き、会合等で守秘義務の徹底をお願いしてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

守秘義務の徹底、よろしくお願ひしたいと思います。

民生委員の制度は、100年以上前につくられた制度であります。当時の厳格な適格条件はそのままであります。地方は、人口減と高齢化が進んでいます。オレオレ詐欺や悪徳商法にさらされるお年寄りや認知症もふえております。以前は考えられなかったような子供虐待と弱者を標的にした事件も増加しております。民生委員の仕事は、広がるばかりだと思ひます。

現在、労働者不足から定年延長が言われ、そうしますと先ほど言われた民生委員さんの年齢、どんどん高まる可能性があります。

それから現在では、100歳まで生きるために年金だけでは2,000万円足りないとも言われる時代であります。年をとっても働かなければ生きていけないような時代となってきました。こういう時代に民生委員は、厳しい適格条件を満たす必要があり、かつ無償のボランティアであります。引き受け手が無いのも当たり前だと思ひますが、どう考えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

民生委員は、市民の身近な相談者として、その果たす役割は非常に重要で大切であると考えております。市民の皆様にも民生委員の役割の重要性をご理解いただき、欠員にならないよう、区長さん、関係者と協議しながら、適任者を探し、お願ひしてまいりたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

先ほど申しました私の同級生ですけども、住所がそこにはないというだけで民生委員にはなれないと。そういうことで、兵庫県あたりでは、民生委員協力員というような制度もつくってあるそうですが、そこら辺についてはどう考えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

現在、民生委員協力員は、当市にはおりませんが、能生地域のほうからそういった要望はいただ

いております。

ただ、住所要件があって、市外の方はなることはできないんですが、例えば糸魚川市に住所を有する方で、もともと山間部にお住まいの方が平場へ出てきたと。そういう方については、居住地域ではないんですが、もともといたところのボランティアをしたいという気持ちで、要は山間部へ行って、民生委員活動をすることは法律上、特に問題はございません。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

私、さっき出した例は、そこに住所がある母親の面倒を見ながら住んでる状態なんです。そういう人が全く民生委員活動に利用できないというのは、非常にもったいない話だと思うんですね。そこら辺、民生委員協力員だったらなれるのかなと思って、お話ししたんですけど、そこら辺どんなもんでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

民生委員協力員につきましては、法で定められたものではございませんので、その扱いについては、当市もまだ明確な基準は設けておりません。

ただ、将来的にそういった方が必要だということであれば、市独自で基準を設けて取り扱いを決めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

今後、定年が延びたりして、75歳という制限もなかなか厳しくなってくるのではないかと思います。そういう点、公務員を退職した人が、例えば山間地にいるとか、そういう場合には、ぜひ協力員でもいいし、何かの形で役立ってもらえたらいいと思うんですが、そこら辺よろしく願います。

それから、今の定年延長も言われてる中で、全く無給のボランティア、活動費が出るだけという状態であります。年金が、100まで生きるには2,000万円足りないとか、そう言われるような時代ですので、この制度は本当は100年もたった制度ですから、改善していただく必要があると思うんですが、そこら辺についてはどう考えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

民生委員ご本人を初めまして関係者各位のご意見をいただいた上で、市が独自に行える改善につきましては、今後、進めてまいりたいと思います。また、国・県に関するものにつきましては、機会を捉えて意見を上げてまいりたいと考えております。

○議長（中村 実君）

質問の途中であります。昼食時限のため、13時まで休憩といたします。

〈午後0時01分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

佐藤議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

山間地のほうから、ひとり暮らしがふえてきまして、民生委員の安否確認についても、安否確認せざるを得ない数がどんどんふえてくると思います。先ほど活動費6万円と言いましたけども、ガソリン代とかそういうのもどんどんふえてくるんじゃないかと思えます。それで、その上に定年を65から、今度は年金も70歳からにしようという動きもありますんで、これは民生委員のなり手がますますなくなるんじゃないかと思えますが、こういう状況は、全国的にそうなるようになっていくと思います。県知事が定める民生委員協議会というのがあるようでございますが、糸魚川市では、どういう区域になっておって、どういう任務を行ってるものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

当市の区域につきましては、糸魚川地域で5カ所、能生、青海各地域で1カ所ずつ、計7カ所でございます。

また、協議会の任務につきましては、民生委員法に基づきまして、職務に関する連絡調整、それと福祉事務所などの関係機関の連絡等となっております。

それと民生委員の報酬等でございますが、市長の答弁で、先ほどは年額6万円というふうにご説明させていただきました。それはあくまでも、市のほうでお支払いしてる謝礼でございます。そのほかに県のほうから一律年額お一人当たり5万1,000円が支給されておりますので、年間11万1,000円ほど民生委員のほうへ支給させていただいている状況でございます。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

県と市からで活動費として11万1,000円支払われてるんですね。その点は了解しました。なかなかこれは、本当に名誉職だと思って引き受けなければ、とてもじゃないが年金の少ない人には務まらないような仕事だろうと思います。

民生委員協議会の任務の中には、私調べたところ、民生委員の職務に関して必要と認める意見を関係各庁に具申すること、これも任務の1つに入っております。民生委員協議会のほうから、私、考えますに、これはもうこの時代、いつまでも長続きする制度じゃないと思うんですわ。民生委員協議会のほうから、この制度の抜本的改正を求めるといようなことは、可能なもんなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

民生委員協議会に出席いたしますと、各委員の皆様方から活動上の悩みやいろんな困っている点をお聞きすることがあります。制度改正につきましては、今後、協議会と意見交換をする中で考えてまいりたいと思っております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

民生委員選びですけども、各区長さんや何か困ると、もうとにかく誰でもいいから名前だけなってくれというような形で頼み込むことも聞いております。そういう形になりますと適格者かどうかなんてことは、とても判断できないわけなんですけども、もう区長さんや何かのどこから推薦されて上がってきた人については、ほとんど素通りで県のほうへ推薦するといような形になってるんだろうと判断しております。ぜひこの、とにかく各地区で民生委員のなり手がなくて困るのが、これからどんどんふえてくると思いますんで、そこらの対応をお願いしたいと思います。

続きまして、2番目の学校と教育行政機関等についてに移らせてもらいます。

先生方の残業については、減少しているということだそうです。糸魚川では。経済協力開発機構（OECD）が、この6月19日に発表した教員の労働や学校環境に関する国際調査の結果であります。中学校教員の勤務時間については、日本はOECD加盟国平均の週38.3時間に対して、1.5倍で週56時間だったということです。小学校については、OECD各国の加盟国の平均は出されていませんが、週54.4時間で加盟国の中で最長だったそうです。

私らが子供のころ、教員は聖職と言われて、先生の言うことをよく聞いて勉強してこい、こう親に言われて学校へ行ったものであります。子供のころから学校の先生とお医者さんだけは、先生という特殊な人だったような気がしております。小学生や中学生たちは、心も体も、知能も人格も成

長の真っただ中であります。先生方は、児童生徒一人一人と向き合いながら、その心や体、知能や人格の成長を含めて、各科目を教えている、そう考えております。先生方も20代前半から聖職者の域には達しているはずもなく、試行錯誤を重ねながら徐々に自分流の教育者人生に自信と誇りを積み重ねて、聖職者を目指している、こう思っております。いわば、先生方も成長発展途上であると思います。

文部科学省の2016年度の調査結果によれば、残業が月80時間、これは過労死ラインという残業時間ですが、これを超える公立学校の教員は、小学校で3割、中学校で6割だそうであります。特給法における教員調整額の月給の4%、これは4%は上乘せされて、そのかわり残業代は払われないというのですが、この4%の根拠について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

泉こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 泉 豊君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（泉 豊君）

お答えします。

教員の仕事は、勤務時間の管理が難しいという特殊性を考慮しまして、休日の勤務手当や時間外勤務手当などについては、支給しないかわりに給料の月額4%を教職調整額として支払うと定められております。近年、教員の仕事内容が、年々複雑化しまして、勤務時間が長引く状態であるということから、勤務実態にそぐわないという部分もあると感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

私が調べた記録によりますと、超勤4項目に対する調整額の4%だということで、その超勤4項目とは、校外学習等、修学旅行等、職員会議等、緊急災害時等、この4つに対しての手当だそうであります。早い話は、それ以外は何十時間の残業があろうと教員個人の自主的な活動と見なされる。こういうことでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

泉こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 泉 豊君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（泉 豊君）

お答えいたします。

教員の場合、時間外勤務を命じる場合については、いわゆる超勤4項目に限られています。この場合、時間外勤務手当が支給されますけれども、緊急時や非常時に限られております。現在の制度と把握しにくい勤務対応にあるということから、働き方改革への取り組みを進めていく必要があると考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

私も4%というのを聞きましたので、本当にそう思います。この特給法が施行された1966年当時と比べて、随分仕事がふえてるんだなというのは、学校の教室を外から見とってわかります。

教員の場合は、年次有給休暇の仕組みと糸魚川での年次有給休暇の取得率というのは、どうなっていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

泉こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 泉 豊君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（泉 豊君）

教員の年次有給休暇の取得につきましては、1暦年に20日をいただいております。繰り越しにつきましては、20日を超えない範囲で、その日数を次年度に繰り越させていただきます。

糸魚川市の県費負担職員の年休の取得30年度におきましては、9日ほどというふうに把握しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

学校の先生もなかなかかわりはないわけで、風邪ひいても病気出してもなかなか休めないような状況であろうかなと思いましたが、20日あるということで、平均9日、これは多いか少ないかわかりませんが、とりあえず安心しました。

ちょっとネットの情報なんですけども、教員の悩みに関する調査によりますと、教員の悩みのベスト3は、子供とのかかわり、2番目、私生活とのバランス、3番目、保護者対応となっております。糸魚川市では、いじめ問題等もありましたが、こういった教職員の悩み調査等を行っているものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

泉こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 泉 豊君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（泉 豊君）

教職員の悩みにつきましては、校長、教頭等の面談などによりまして、把握しております。また、ストレスチェックを年1回、チェックについて行っていただきますので、それについても利用させていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

その内容につきましては、わかる範囲で教えていただきたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

泉こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 泉 豊君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（泉 豊君）

具体的な内容については、細かく把握をしておりますけれども、市の教育委員会に上がる相談内容があった場合については、真摯に対応しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

特に出てこないということは、対応していただいているんだろうなと思います。

昨今は、昨年の新潟市での小学生の女子児童が殺されて、線路に置き去りにされた事件もありました。市内でも、安心メールで変質者や不審者情報が流れるようになりました。

教職員の自主残業は、多くあります。そもそも残業代を払う必要がないから、残業状態も多分よくわからないんじゃないかと思います。特に若い教職員にとっては、子供たちとの関係、保護者との対応に追われながら、自分の理想とする教育を目指すには、自主残業をせざるを得ない。こういうような状況が、全国的にあるんじゃないかと思います。休職者が、この糸魚川にはないといいましたが、休職者がそういう形でふえてくるんだと思います。

糸魚川市教育委員会は、新潟県教育委員会とともに市内に勤務する教職員を守る役割があると思いますが、その点、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

泉こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 泉 豊君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（泉 豊君）

教職員が心身ともに安心して健康で働くことができるように、県教育委員会とともに市教育委員会としましても、教職員をサポートしていきたいと思っておりますし、また、その取り組みについて、継続してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

議員になって学校行事に出席しますと、個性豊かな先生方がおられます。子供たちの心を捉える名人、そういう先生もおられますし、空気の盛り上げがすごい素晴らしい先生もおります。また、素晴らしい特技を持った先生もおります。子供たちに勉強を教えるだけでなく、子供たちとの関係や保護者との関係に悩みながら、教師として成長を重ねて、自信と誇りを身につけられたのだらうと思いました。

成長期の子供たちに一人一人の違った長所や短所、個性があります。その子たち一人一人に本気で立ち向かう先生方にも、それまで培ってきた教育方法や自信・誇りについて、一人一人に違った個性があります。また、それぞれの先生一人一人が成長途上、発展途上であるとも言えます。これらの先生方、それぞれ長時間残業やいろんな対応に追われて、自分の時間が押し潰されております。

陰山メソッドですが、私は、陰山メソッドそのものについて反対するわけではありません。それどころか、私、きのう東小学校で見てきました。子供たちと初顔合わせの先生が、授業が始まって一瞬の間に子供たちの心をつかんで、スピード感と緊張感のある授業に入っていく。子供たちの声もどンドン大きく元気になっていく。子供同士で隣の席の子の書いた漢字を点検させる。こうして1学期の早い時期に1年分の習う漢字を覚えさせる。後は、復習や習熟度を上げたりする時間が十分とれる。だから、落ちこぼれも最小限になり、子供たちに自信がつき、クラス全体の成績が上がる。これはすばらしいことだと思います。教える先生にも、最初のうちに教えるべきことをざっと教えてしまうと、先生にも時間の余裕ができるし、残業を減らすことも大いに可能である。子供一人一人に対して学業以外にも目を向けることが可能になるのではないかなと、昨日、思いました。

義務教育には、学力の向上だけでなく、子供たちの個性も重んじながら、人格形成の応援も大いに期待しております。陰山メソッドには、子供たちの学力向上、自分に自信を持った元気な子供たちづくりへの大きな貢献を期待します。

さらに、先生方についても、モニターペアレンツ等とも言われる保護者との対応も楽になるだろうと感じました。残業時間も減らすことができ、先生方本人の時間が多くとれるようになれば、ストレスは大変に減少すると思います。

ところで、私は元来、口下手ですので、冗談は、この世の潤滑剤の1つだとも思っておりますが、4月の教職員歓迎会での市長発言は、もう少し言いようがあったのではないかと思います、市長いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

まさに今、議員ご指摘の陰山メソッドにつきましては、本当に私は、いい教育方法だなとおっしゃる次第であります。そのようなことから、市内全域にまず広めていきたいという気持ちがございました。

そのような中で、言った言葉のそこだけをとられると、本当に何か威圧的に、高圧的にとられたかに思われるわけですが、しかし、私はその前段で、子供たちの勉強が向上することが、親御さんにとっても、また地域にとっても、行政にとっても望むところであり、そういう方向に行くということは非常にいいことで、いろいろなところからおいでになった先生、また、先生方は、もう教育のプロでございます。やはり自分の考えや自分の教育方針をしっかりとっておられる先生方があります。そういう中で、糸魚川は陰山メソッドを広めていきたい、そういう中で行きたいわけですが、どうしても嫌だという方々におかれましては、よそへ行っていただいとというような話をさせていただいたわけございまして、そのときには受けとめ方といたしましては、笑い声もあったので、何かソフト的に受けとめていただいたのかなというふうな捉え方でありました。そのような捉え方もされる方がおられるとしたら、やはりこれから言葉には注意しなくちゃいけないなと感じとる次第であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

私はその場にいませんでしたから、その場の空気はわからないんですが、糸魚川タイムスに出ていたので、これは気になったわけであります。

教育基本法には、憲法と同じように前文が書かれていて、憲法を実践するためにつくられた法律であると記載されております。第16条には、教育は不当な支配に服することなく云々と書いてあります。地方教育行政法21条、22条には、教育委員会と地方公共団体の長の職務権限について書かれております。私はそれに照らして、ちょっとこれと思ったので、確認させてもらいました。

陰山メソッドにつきましては、今後も進めていただきたいと思います。子供たちが、自信を持って学校へ通える。落ちこぼれも、いじめも、校内暴力もない学校を目指していただきたいと思います。先生方の悩みも減らしながら、学力日本一、人間性も日本一の子供づくりを目指して、学校と教育委員会は頑張してほしいと思います。また、市長は市長の立場でそれを応援してほしいと思います。

続きまして、3番目は飛ばしまして、4番目先にやらせていただきます。

ビーチホールまがたまについてです。第3次糸魚川市行政改革平成31年度実施計画によりますと、平成29年度から今年度の間で、ホール施設管理運営による外部委託等の検討を行うこととなっています。民間委託、市民参加型を目指してようではありますが、平成29年度の取り組み実績にある市民参加について、事業運営スタッフの協力依頼、舞台技術基礎研修の実施について、これについては、どのような形で行ったのか。協力依頼は、何件ぐらい行ったのか。基礎研修は、どういう形で何人ぐらい参加されたのか、そこら辺をお聞きします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

平成29年度、平成30年の2月17日と3月3日の2日間において、舞台等のステージサポーターの養成研修会という形で実施しております。

内容につきましては、舞台運営に関する基礎知識、あとは舞台が暗転したとき、暗くなったときに道具を置く場所のやり方等の実践を行っておるものであります。会場は、市民会館で行いました。

なお、参加者なんですけども、2日間で延べ20名の参加がありました。主に演劇に携わってる方ですとか、カラオケの方も中にはおられましたし、ダンスをやられてる方、または太鼓をやられてる方と、舞台を利用される方、ホールを利用する方が主に研修会に参加しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

小さい文化団体の中には、研修があるという連絡を受けたような気がするけども、こういった行政改革のこういう流れの中でやられるんだということはわからんで出なかったと。そういう人もお

聞きしとるわけなんです。この研修の案内は、幾つのグループに案内を出して、20人なんですか。そこら辺ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

案内につきましては、文化協会に加盟しております会員の皆様に団体の長を通じて行っております。

また、5月に毎年行っております奴奈川の里の太鼓フェスティバルの実行委員会の皆様にも、研修会の案内を差し上げております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

連絡を出した団体の数というのは、わかりませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

その当時、幾つの団体に出したかはちょっとはっきりしておりませんが、30年の4月の段階で文化協会に加盟しておる団体につきましては、88団体ありますので、80近くの団体に案内を差し上げてるものと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

88の団体に案内出して20人ということは、非常に少ないような気がします。

それで多分、この行政改革31年度実施計画、これは各団体にしっかり届いてないのではないかと思います。能生マリンドリームのような形態を目指して、各団体が自主的な運営をする方向へ持っていきたいというようなのがありますが、マリンドリーム能生がどのような形態で行われているのか、少し教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

能生マリンホールにつきましては、市民会館、青海総合文化会館と違いまして、舞台の音響とか照明とか舞台装置の技術が、それほど必要とされない施設でありますので、一度、技術的なことを覚えてしまうと、一般の方でも利用可能だということで、マリンホールにつきましては、技術スタ

ップが同行せずに芸能祭のときのみ、委託する業者のほうで対応しておりますが、そのほかにつきましては、それぞれの団体で利用していただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

この計画を見ますと、マリンドリームの状態を他のホールの利用者へ浸透させたいというような言葉が書いてありますが、その浸透させるというようなことをやったことがございますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

マリンドリームの状態を、市民会館とか青海総合文化会館、ビーチホールまがたま等に浸透させるという考えではなくて、事業を主催する方がそれぞれ、先ほど言いましたステージのサポーター養成研修会等に参加された方が、技術を習得して、それらの舞台運営が可能となれば、そういう形でやっていただければという願いを込めて、研修会を実施してるものでありますので、当然、舞台運営ができないという団体もございますので、そのような場合は、委託業者が、舞台の技術スタッフがおりますので、その技術スタッフで対応していくというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

この平成30年度のアクションにつきまして文書を読みますと、4つの文化ホールのすみ分けや、利用者がみずから舞台運営スタッフを用意するなどの対応が必要とありますが、ここら辺について詳しく聞かせてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

すみ分けというのは、市民会館、青海総合文化会館は、非常に舞台が広く、ビーチホールまがたま、能生マリンホールは、舞台が狭くなっております。また、舞台演出で非常に必要な、演出効果が必要だという場合は、市民会館、青海総合文化会館で実施していただき、講演会とか演出効果が少ないもの、または小さな催しにつきましては、ビーチホールまがたまや能生マリンホールで実施していただきたいという役割分担をしていただければという考えで、書かせていただいたものであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

私も又聞きだと、ビーチホールまがたまは、会議とか集会専用にしようと考えているのではないかと、そういうような話を聞きましたもんですから、これを市民会館でイベントやるには、団体が小さ過ぎてお客が集まらない。まがたまがちょうどいい大きさなんだと、そういう団体が幾つかあると思うんです。そういう団体は、まがたまを使えなくなってしまう、その方向なんかという、そういう心配がありまして、この質問をさせていただきました。

先ほど聞きました6月に採用された技術スタッフですか、その人の専門技術というか、そこら辺について教えていただきたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

6月に採用した職員につきましては、音響等に興味がある方ということで、なかなか専門技術者を雇用することが困難な状況でありましたので、面接させていただいて、音響に関して興味を抱いているという方を採用させていただきました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

小さい団体にとっては、まがたまをステージ、舞台とホール使うのに大変重宝しているわけがあります。これは市の施策によって、市内に根づいてきた小っちゃい文化団体が消滅するようなことがあってはならないと思います。働きながらグループを盛り上げている小グループにとっては、この行政改革が15ページのホールの部分の検討について、情報が周知されたとは言えないと思います。この状態のまま、すみ分けを、先ほど言われたように、まがたまはというような話になると非常に困りますので、ここら辺の提案を。

終わりました。

○議長（中村 実君）

佐藤議員、時間であります。

○7番（佐藤 孝君）

以上です。

○議長（中村 実君）

以上で、佐藤議員の質問が終わりました。

次に、新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

新保議員。〔8番 新保峰孝君登壇〕

○8番（新保峰孝君）

日本共産党の新保峰孝です。